

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

29年6月20日

都道府県知事
広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 別府市大字別府宇野口原3088-27

氏 名 別府市水道企業管理者 中野 義幸
(法人にあつては、名称及び代表者の名前)

電話番号 0977-22-0361

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	別府市水道局 朝見浄水場
事業場の所在地	別府市朝見2丁目4002番2
計画期間	5年間
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	水道事業
②事業の規模	128億円
③従業員数	(朝見浄水場)職員5人 運転管理業務委託者11人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

29.6.20

14-14

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	8,951 t	t
	(これまでに実施した取組) 取水する原水の濁りの状態、また配水量に左右される為、廃棄物排出量の減量は難しい面がある。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	9,856 t	t
	(今後実施する予定の取組) 中長期的課題 1. 環境管理・監査システム導入・構築 2. 自主管理基準の設定 3. 環境に係る社会活動への積極的な参加		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	7,921 t	t
	(これまでに実施した取組) 脱水効率の向上等による中間処理を推進する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	8,656 t	t
	(今後実施する予定の取組) 更なる、脱水効率の向上等による中間処理を推進する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	1,030 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,030 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定埋立業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 排出事業者の処理責任 発生した産業廃棄物は、自ら処理することを原則とし、処理業者に委託する場合であっても、収集運搬から処分に至るまで確認し、適確に管理する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	1,200 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,200 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定資源回収業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>目標の設定</p> <p>浄水場であるため、最終処分量の削減、再生利用の拡大については難しい面があるが、処理に関する目標及び計画は、定期的に必要な見直しを行う。</p>		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画

1. 事業の概要

(1) 事業者名

別府市水道局

(2) 資本金

128 億円

(3) 職員数

67 人

2. 当該事業場(朝見浄水場)において現に行っている事業の概要

(1) 従業員数

職員 5 人 運転管理業務委託者 11 人

(2) 製造品出荷額等

2,352,870,840 円 (平成 28 年度)

(3) 製造概要

朝見浄水場は、大分川及び乙原川から原水を取水し、凝集沈澱・ろ過・滅菌の工程を経て浄水を供給している。

朝見浄水場の年間配水量 (平成 28 年度) 11,509,073 m³

(4) 製造フローシート

図 1 参照

(5) 浄水場内平面図

図 2 参照

(6) 事業展望

長引く経済停滞による水需要の低迷、市民の節水意識の高揚、給水人口の横ばい等が続くものと予測されるので年間配水量は、現状程度と思われる。

(7) 廃棄物処理フローシート

図 3～4 参照

(8) 連絡先

担当者：朝見浄水場

場長 木村 一喜

電話番号：0977-22-0527

FAX 番号：0977-22-0999

3. 計画期間

平成 29 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで

4. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

総括責任者	工務課 課長 佐藤 順也
廃棄物担当	工務課 朝見浄水場 場長 木村 一喜
役 割	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○職員の教育・啓発 ○その他関係する事項
<p>廃棄物管理組織</p> <pre> graph TD A[水道企業管理者] --> B[管理課] A --> C[営業課] A --> D[工務課] A --> E[配水課] D --> F[計画係] D --> G[工務係] D --> H[施設係] D --> I[朝見浄水場] style D stroke-width:4px style I stroke-width:4px </pre>	

(2) 教育・研修

発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、職員等に定期的に教育・研修を行う。

(3) 情報公開

廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、廃棄物の発生、分別、再生利用状況について情報の公開に努める。

5. 廃棄物の処理に関する事項

(排出の抑制、分別、再生利用に関する事項を含む)

(1) 基本的事項

①法令の遵守等

産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。

②排出事業者の処理責任

発生した産業廃棄物は自ら処理することを原則とし、処理業者に委託する場合であっても、収集運搬から処分に至るまで確認し、的確に管理する。

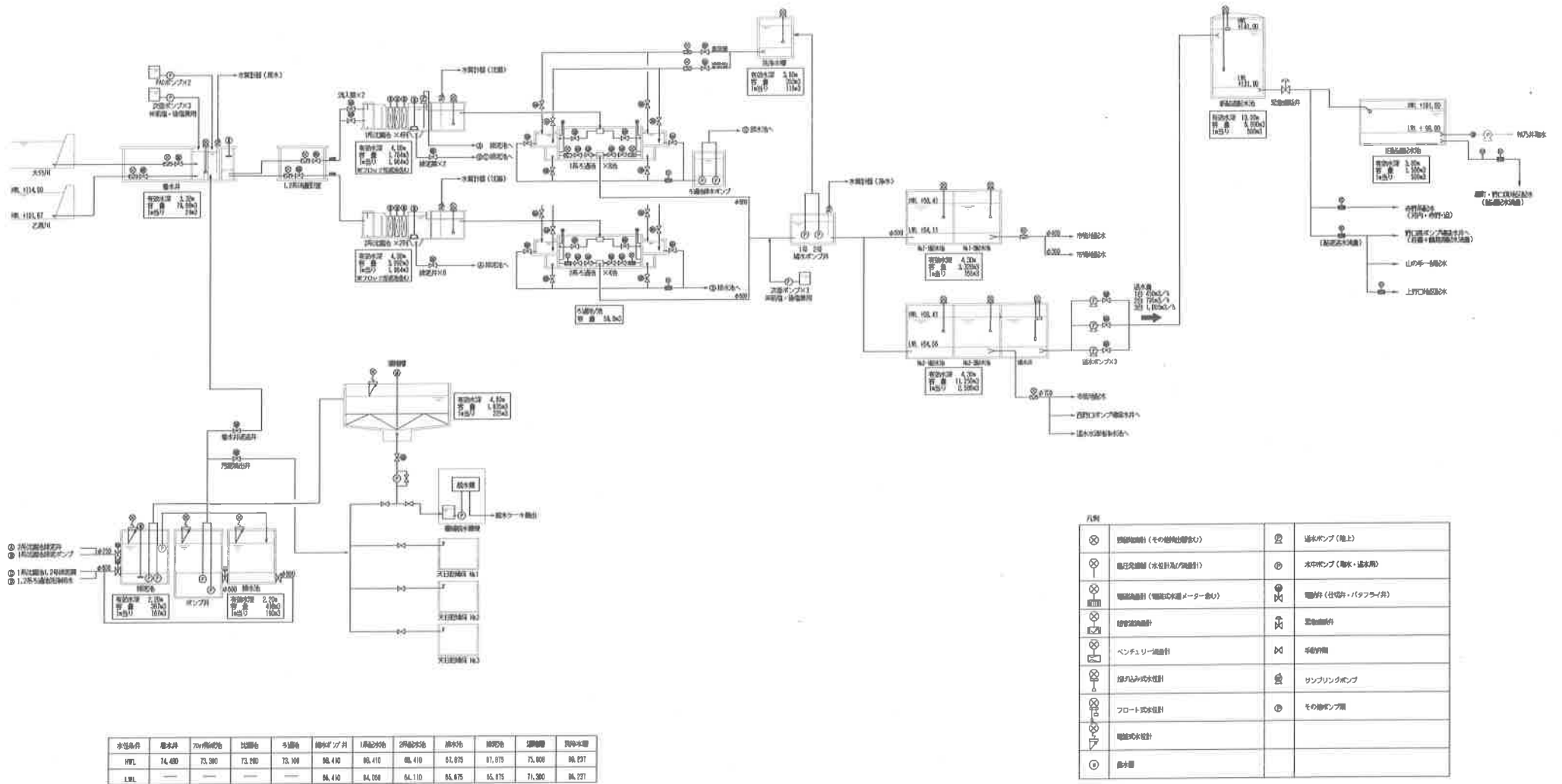
③目標の設定

浄水場であるため、最終処分量の削減、再生利用の拡大については難しい面があるが、処理に関する目標及び計画は、定期的に必要な見直しを行う。

④廃棄物処理の取組み

廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施する。

- | | |
|----------|------------------------------|
| (a) 発生抑制 | ・発生抑制を考慮した施設を検討する。 |
| (b) 中間処理 | ・脱水効率の向上等による中間処理を推進する。 |
| (c) その他 | ・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。 |



水位高付	取水井	70m揚水塔	比降塔	ろ過塔	濾水タンク	1号濾水塔	2号濾水塔	濾水塔	濾水塔	濾水塔	濾水塔	濾水塔
114.10	74.40	73.30	73.20	73.10	68.40	68.41	68.41	67.875	67.875	75.808	68.227	
110.17					68.40	64.008	64.110	63.575	63.575	71.300	68.227	

凡例

⊗	調整設備 (その他抽出ポンプ)	⊕	送水ポンプ (地上)
⊙	水位差調整 (水位計及/調整計)	⊖	水中ポンプ (取水・送水用)
⊛	電流計 (電流の水通メーター兼用)	⊗	電弁 (吐出・バックアップ)
⊠	調整設備	⊘	調整設備
⊡	ベンチュリー調整計	⊙	手動弁
⊢	浮力式水位計	⊚	ランプリングポンプ
⊣	フロート式水位計	⊛	その他ポンプ用
⊤	電流式水位計		
⊥	表示器		

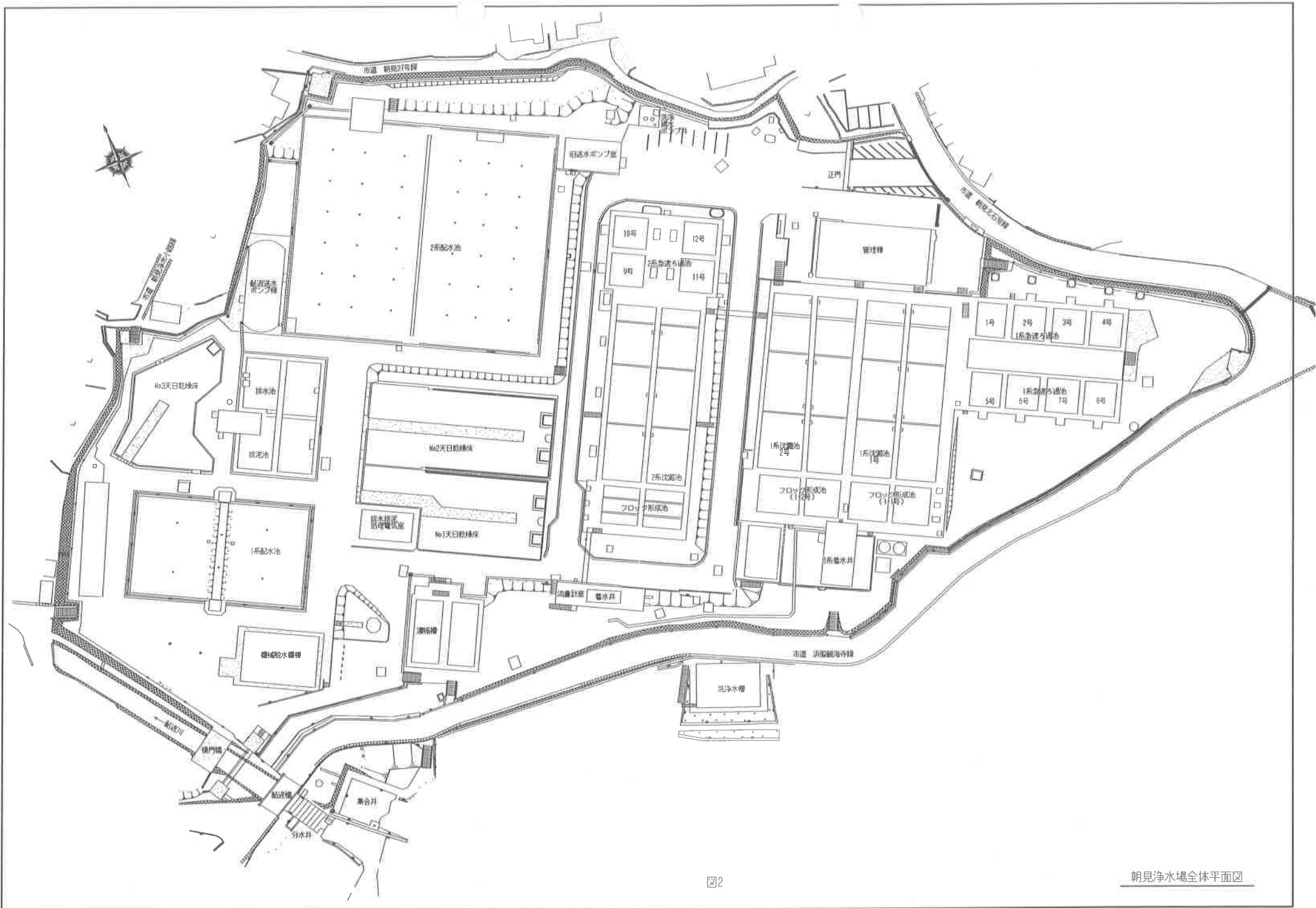


図2

朝見浄水場全体平面図

廃棄物発生フローシート（現状）

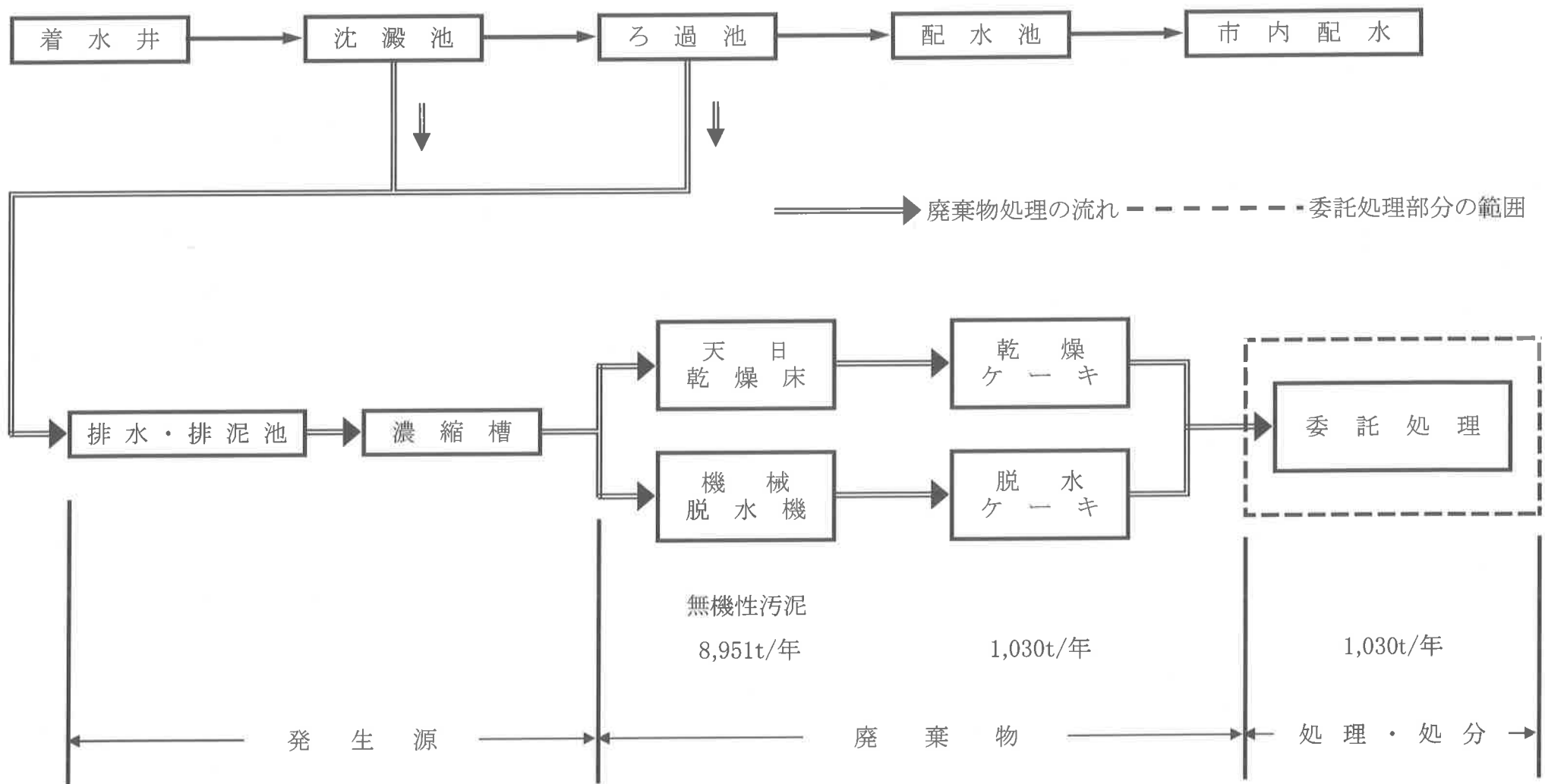
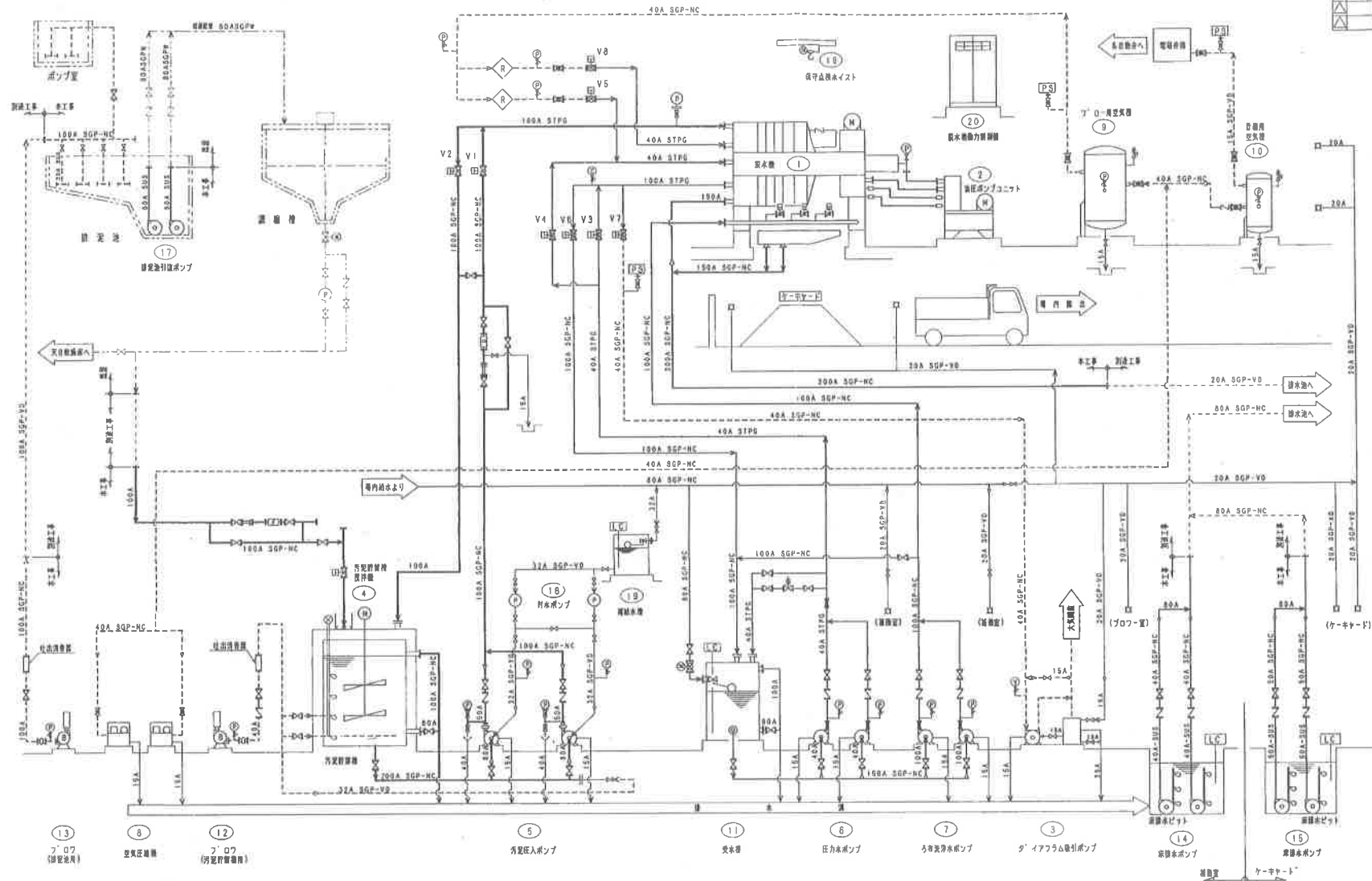


図 3

設備仕様			
NO	位置	区	内容



記号	名称
—	汚泥配管
—	下水配管
—	排水配管
—	空気配管
×	片切弁
◇	玉型弁
∇	差止弁
○	ホース弁
○	リリーフ弁
◇	逆止弁
□	取水栓
○	自動エキセントリック弁
○	自動ホース弁
○	自動バクワライ弁
○	電動ホース弁
NO	流量計
NO	電流流量計
□	圧力スイッチ
○	弁蓋開弁 (汚泥用)
○	弁蓋開弁 (排水用)
○	弁蓋開弁 (空気用)

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
名称	取水機	油圧ポンプユニット	ダイヤフラム吸引ポンプ	汚泥貯留槽用ポンプ	汚泥吸入ポンプ	圧力ポンプ	下水浄水ポンプ	空気圧縮機	フロー用空気機	計量用空気機
型式	強制型固定式取水機	コンビネーション型	真空ポンプ (箱型)	サイクロ形式	スラリ-昇降ポンプ	電動多段巻揚ポンプ	電動多段巻揚ポンプ	オイルフリー式バクワライ-ン	鋼製鋼製空気機	鋼製鋼製空気機
寸法	ろ過径φ65mm, 寸法30mm	1100mmφ×1100mmφ	1.0mφ×1.0mφ	9m×5.1m	0.8m/分×85m	0.2m/分×165m	1.0m/分×85m	1.25m/分×7kg/d	6m×0.97MPa	0.5m×0.97MPa
電機容量	1.5kw	11kw	3.7kw	1.5kw	30kw	15kw	30kw	11kw	22kw	11kw
設置数	1	1	1	1	2 (内1台予備)	2 (内1台予備)	2 (内1台予備)	2 (内1台予備)	1	1

番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
名称	受水機	フロー (汚泥貯留槽用)	フロー (調整用)	底層水ポンプ (ケーキヤード)	底層水ポンプ (ケーキヤード)	底層水ポンプ (ケーキヤード)	底層水ポンプ (ケーキヤード)	底層水ポンプ (ケーキヤード)	底層水ポンプ (ケーキヤード)	底層水ポンプ (ケーキヤード)
型式	SUS鋼製	ルーツ式	ルーツ式	ルーツ式	ルーツ式	ルーツ式	ルーツ式	ルーツ式	SUS鋼製	鋼製鋼製
寸法	3m	0.8m/分×0.049MPa	6m/分×0.049MPa	0.05m/分×85m	0.1m/分×10m	210m×12m	1.16m/分×11m	40l/分	0.1m	1200m×5000×1050H
電機容量	-	1.5kw	11kw	0.25kw	0.75kw	0.55kw+2.6kw	5.5kw	1.5kw	-	-
設置数	1	1	1	2 (自動交互)	2 (自動交互)	1	2 (内1台予備)	2 (内1台予備)	1	1

項目	内容
工号名	朝見浄水場出水処理施設建設工事
図名	汚泥貯留槽用排水機ポンプ配管工事 フローシート
尺取	Non 第三内法
作成	H.10年 4月18日
製図者	石垣
図番	TJ3014-FGA-00